

## ■フィンランド・ドイツ：Fortum が Uniper 株の過半数を取得へ

フィンランドのエネルギー大手 Fortum は 2019 年 10 月 8 日、ドイツのエネルギー大手 Uniper 株式の 20.5%を投資ファンドの Elliott Management および Knight Vinke から約 23 億ユーロ（約 2,800 億円）で買い取り、出資比率を 70.5%超に引き上げると発表した。ドイツのエネルギー大手 E.ON が従来型電源等をスピンオフして設立した Uniper について、Fortum は、2018 年 1 月に E.ON から約 47%の株式を取得し、更なる買い増しを進めていた。Fortum は Uniper 買収について既に欧州委員会から承認を得ているが、今後は関係国の審査を経て、2020 年 3 月までの買収完了を目指す。2018 年末時点で Fortum はフィンランド、スウェーデン、ロシア等で CHP や原子力、水力発電所等を 1,372 万 kW 運用し、Uniper はドイツ、スウェーデン、英国等でガス火力、石炭火力発電所等を計 3,400 万 kW 運用しており、Fortum は今回の買収目的をスウェーデン等における事業運営上のシナジー効果の発揮、および Fortum のドイツ等への事業展開であるとしている。